

## 西予市復興座談会（明浜、城川、三瓶地区）を開催しました

明浜、城川、三瓶地区で市民の皆様を対象とした復興座談会を開催しました。復興座談会では、復興まちづくり計画策定の進め方や復興事業の状況等をご説明させていただくとともに、参加された皆様から復興に関する様々な意見をいただきました。

**明浜地区**

日 時：平成30年12月17日(月) 19:00～

場 所：依津公民館

参加者：42名

**城川地区**

日 時：平成30年12月18日(火) 19:00～

場 所：総合センターしろかわ

参加者：49名

**三瓶地区**

日 時：平成30年12月19日(水) 19:00～

場 所：三瓶支所

参加者：32名



## 明浜地区での主な意見

**安心で安全なまちの再建について**

- ・急傾斜地崩壊危険箇所等の指定になっていない場所でも危険な場所がある。その対策も進めて欲しい。
- ・沿岸部における、津波対策も考慮して欲しい。

**産業・経済における生業の再建について**

- ・復旧事業とあわせて園地改良を行うことも検討して欲しい。
- ・家建物が被災したら支援金が出るが、樹園地は被災しても何も支援がない。園地復旧や苗木の購入について支援して欲しい。
- ・モノレールの資材等が不足している。早急に対応を進めて欲しい。

**インフラ環境、まちなみ整備について**

- ・国道378号は、以前も土砂崩れがあった。対策を進めていただきたい。
- ・県道宇和明浜線のバイパスで水があふれる場所がある。対策を進めて欲しい。

**子育てや教育環境の再建について**

- ・中学校裏の土砂の撤去を速やかに進めて欲しい。

**その他**

- ・復興スケジュールの期間内に、市内の土木業者だけで対応できるのか不安がある。
- ・災害が起きた当日における市職員の対応が悪かった印象がある。

## 城川地区での主な意見

### 安心で安全なまちの再建について

- ・他市町の消防署との連携強化や広域化に取り組んで欲しい。

### 日常の暮らしの再建について

- ・電気や通信が不通となり孤立した。ラジオの電波も弱い。対策を進めて欲しい。

### インフラ環境、まちなみ整備について

- ・今回の豪雨で直接的な被害はないが、川沿いにある浄水施設の強靱化対策を進めて欲しい。

### 産業・経済における生業の再建について

- ・台帳に載っていない頭首工の復旧について対策を講じて欲しい。
- ・水路が被害を受け、来年の米が作れるか不安である。田植えまでに直して欲しい。

### その他

- ・被災したクアテルメ宝泉坊は休業中だが、それを知らない地域外からの来訪者がある。看板設置やアナウンスを行ってはどうか。

## 三瓶地区での主な意見

### 安心で安全なまちの再建について

- ・災害時における人や物資の搬送等において、漁業者との協定も検討してはどうか。
- ・沿岸部では、南海トラフ地震の対策が重要である。命を守るための対策を進めて欲しい。
- ・中学校の周辺は何回も浸水している。マンホール等の維持管理を適切にして欲しい。

### 産業・経済における生業の再建について

- ・農業施設や農道の土砂撤去をお願いしたい。

### インフラ環境、まちなみ整備について

- ・国道378号の土砂崩れにより孤立が生じた。孤立しないためにも災害に強い国道の整備を進めて欲しい。

### 日常の暮らしの再建について

- ・土地のかさ上げを行う際に、土砂の融通等を検討して欲しい。

### 子育てや教育環境の再建について

- ・西予市の中で、ボランティアが行き交う形ができれば望ましい。西予市が一つになるためにも重要である。

### その他

- ・復興事業には大きな費用がかかると思うが、市全体で優先順位を決めて、速やかに進めて欲しい。
- ・今後、人口減少が進む中で、産業の活性化や企業誘致等を考えるべき。

## アンケート調査への協力をお願い

西予市の復興・再生に向けた指針となる「西予市復興まちづくり計画」策定において、市民の皆様のご意見等をお伺いするため、各種アンケート調査を実施しています。

調査の趣旨をご理解いただき、調査票の届いた方は、ご協力くださいますようお願いいたします。

### 調査の種類と内容

調査名称	目的	対象	時期
避難行動調査	避難に関する状況（避難しなかった方も含みます）を把握し、避難所や避難経路の整備、復興計画策定のための基礎資料とします。	避難した方の割合が多い地区において、実際に避難した世帯及び無作為抽出した世帯 約2,500世帯	12月10日～25日
住宅再建意向調査	住宅再建に関する意向や考え方を伺い、災害公営住宅の整備や今後の宅地整備等のための基礎資料とします。	り災証明において一部損壊（床上浸水）以上の判定を受けた世帯 約500世帯	12月20日～1月11日
市民意向調査	災害に対する考えや、復興に関して望んでいることなど全般的な意向を伺い、復興事業・計画策定の基礎資料とします。	市内全域を対象に無作為抽出した世帯 対象者数未定	1月末頃発送（予定）

ご協力ありがとうございました。